

規則

ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例施行規則の一部を改正する規則をここに公布する。

平成三十年九月二十八日

埼玉県知事 上 田 清 司

埼玉県規則第五十四号

ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例施行規則の一部を改正する規則

ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例施行規則（昭和五十四年埼玉県規則第七十二号）の一部を次のように改正する。

第二十五条第一号中「合計」の下に「（当該緑化の方法に別表第三の二の上欄に掲げる緑化の方法のいずれかに該当するものが含まれる場合にあつては、当該緑化の方法の区分に応じ、それぞれ同表の下欄に掲げる方法により算定して得た面積を加えるものとする。）」を加え、同条第三号中「樹木の植栽により緑化を行う敷地」を「別表第三樹木の植栽の項に規定する方法により算定して得た面積」に改める。

第二十七条第一項第三号ニを次のように改める。

ニ 別表第三樹木の植栽の項に規定する方法により算定して得た面積

別表第三芝、コケその他の地被植物又は多肉植物の植栽の項中「の面積」の下に「。ただし、敷地の緑化の場合は、当該面積」を加え、「（樹木の植栽により算出した緑化面積の合計の四分の一を超えない部分に限る。）」を「（これらの方法により算定した面積の合計は、樹木の植栽の項に規定する方法により算定して得た面積の四分の一の面積を上限とする。）」に改め、同表ツル植物の植栽（壁面の緑化に限る。）の項中「に〇・九を乗じて得た面積」を削り、同表の次に次の一表を加える。

別表第三の二（第二十五条関係）

緑化の方法	緑化面積の算定方法
生け垣の植栽	生け垣の水平投影の長さの合計に生け垣の高さを乗じて得た面積
高さ四・〇メートル以上の樹木の植栽（生け垣の植栽を除く。）	樹木の高さの十分の六の長さを直径とする円の面積

備考

- 一 生け垣とは、接道部における樹木の植栽による垣をいう。
- 二 生け垣の高さは一・〇メートル以上とし、その算定方法は、知事が別に定める。

様式第七号から様式第九号までを次のように改める。

緑化計画届出書

年 月 日

(宛先)

埼玉県知事

住所

氏名

㊟

〔法人にあつては、主たる事務所の所
在地及び名称並びに代表者の氏名〕

電話番号

代理人

住所

氏名

㊟

〔法人にあつては、主たる事務所の所
在地及び名称並びに代表者の氏名〕

電話番号

担当者名

次のとおり緑化計画を作成したので、ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例第26条第1項の規定により、届け出ます。

工 事 種 別	
建 築 物 の 用 途	
敷 地 の 所 在 地	

緑化着工予定日	緑化完了予定日
年 月 日	年 月 日

用途地域等	建蔽率
1 用途地域等 ()	1 あり (%)
2 その他の区域	2 なし

敷地面積 (全体)	
S	m ²

接道部の長さ	
L	m

樹木の植栽により緑化を行う敷地の区域の面積	
敷地地上部において樹木による緑化を行う面積	
(別紙2の緑化面積等計算表の①)	
T'	m ²

法令により緑化を行うことができない区域の面積	
S'	m ²

法令により緑化を行うことができない部分の長さ	
L' 1	m

出入口の部分に係る長さ	
L' 2	m

(緑化面積の基準算定式)

- 用途地域内
 $a = (S - S') \times (1 - \text{建蔽率}) \times 0.5$
- その他の区域
 $a = (S - S') \times 0.25$

(接道部緑化の基準算定式)

$$\ell = ((L - L' 1) \times 0.5) \text{ 又は } (L - (L' 1 + L' 2))$$

いずれか小さい値

(高木植栽本数の基準算定式)

$$t = T' / 20 \text{ m}^2$$

基準	緑化を要する面積	緑化を要する接道部の長さ	高木となる樹木の植栽本数
	a	m ²	ℓ
		m	t
			本

◎ $A \geq a$ 、 $L 1 \geq \ell$ 、 $T \geq t$ となるようにすること。

計画	緑化面積 (A 1 + A 2)	接道部の緑化を行う部分の長さ	高木となる樹木の植栽本数
	A	m ²	L 1
		m	T
			本

(別紙1の緑化計画内容一覧表の敷地の緑化面積「A 1」+建築物上の緑化面積「A 2」)

注

- 位置図(行為地又は建築物等の位置図及び方位を示すもの)、緑化計画平面図(建築物上の緑化計画に係る平面図も含む)、緑化計画断面図(壁面の緑化や駐車場の緑化を行う場合に限る。)及び建築物立面図(2面以上の緑化を行う場合)を添付すること。
- 消防法その他の法令により緑化を行うことができない区域の面積(S')又は接道部における消防法その他の法令により緑化を行うことができない部分の長さ(L' 1)が存する場合には、緑化計画平面図に明示するとともに緑化を行うことができない理由及び根拠法令を示すこと。
- 接道部の長さ、出入口の部分に係る長さ及び接道部の緑化を行う部分の長さについては、平面図に明示すること。
- 高木となる樹木とは、成木の高さが通常2.5m以上となる樹木をいう。

緑化計画内容一覧表

	高さ (植栽時)	植栽本数		植物名		
		既存	新規			
敷地	樹木 ※ 植栽時の樹高で分類	4.0 m以上	B	既存 本		
				新規 本		
	4.0 m未満 2.5 m以上	C	既存 本			
			新規 本			
	2.5 m未満 1.0 m以上	D	既存 本			
			新規 本			
	1.0 m未満	E	既存 本			
新規 本						
樹木本数計		(B + C + D + E) の合計本数		本		
緑化面積		うち成木時の高さ 2.5 m以上の樹木本数 (別紙 2 の緑化面積等計算表 (T))		本		
		(別紙 2 の緑化面積等計算表の①と一致)		m ²		
敷地	生け垣 ・ 4 m 以上の 樹木	植栽本数		緑化面積	植物名	
		生け垣	既存	本		m ²
			新規	本		m ²
		4 m以上 の樹木	既存	本		m ²
			新規	本		m ²
	緑化面積		(別紙 2 の緑化面積等計算表の②+③と一致)		m ²	
	その他	緑化面積		植物名		
		既存	m ²			
		新規	m ²			
		既存	m ²			
		新規	m ²			
		既存	m ²			
新規		m ²				
緑化面積		(別紙 2 の緑化面積等計算表の④と一致)		m ²		
合計	別紙 2 の緑化面積等計算表の A 1			m ²		
建築物上	樹木 ※ 植栽時の樹高で分類	植栽本数		植物名		
		4.0 m以上	B	既存 本		
				新規 本		
		4.0 m未満 2.5 m以上	C	既存 本		
				新規 本		
		2.5 m未満 1.0 m以上	D	既存 本		
				新規 本		
	1.0 m未満	E	既存 本			
			新規 本			
	樹木本数計		(B + C + D + E) の合計本数		本	
	緑化面積		(別紙 2 の緑化面積等計算表の⑤と一致)		m ²	
	その他	緑化面積		植物名		
既存		m ²				
新規		m ²				
既存		m ²				
新規		m ²				
緑化面積		(別紙 2 の緑化面積等計算表の⑥と一致)		m ²		
合計	別紙 2 の緑化面積等計算表の A 2			m ²		
■緑化面積の合計 (A 1 + A 2)				A m ²		

※ 面積については、小数点以下第 2 位 (第 3 位切捨て) までを記入すること。

緑化面積等計算表

1 緑化面積

■敷地

【樹木】(植栽本数欄は植栽時(既存樹木は計画書作成時)の樹高で分類)

番号	植栽区画面積		植栽本数 (本)				18B + 10C + 4D + E の値 (㎡)	緑化面積 (㎡)	備考
	計算式	実面積 (㎡)	B	C	D	E			
	計							①	

- ※1 Bは4m以上、Cは2.5m以上4m未満、Dは1m以上2.5m未満、Eは1m未満
- 2 緑化面積は、「植栽区画面積 ≤ 18B + 10C + 4D + E」の式を満たすものであること(⑤において同じ)。

【生け垣・4m以上の樹木】

生け垣

番号	植物名	生け垣の長さ(m)(ア)	生け垣の高さ(m)(イ)	緑化面積(㎡)(ア×イ)	備考
	計			②	

※ 生け垣の長さ及び高さは、小数点以下第1位(第2位切捨て)までを記入すること。

4m以上の樹木(樹高欄は植栽時(既存樹木は計画書作成時)の樹高で算定)

番号	植物名	樹高(m)(ア)	本数(イ)	緑化面積(㎡)	備考
	計			③	

- ※1 生け垣で加算した面積に係る樹木は除く。
- 2 樹高は、小数点以下第1位を切捨てで記入すること。
- 3 緑化面積の算定方法は、次のとおりとする。
緑化面積 = (ア × 0.6 × 0.5) × (ア × 0.6 × 0.5) × 3.14 × イ

【その他】

番号	計算式	植栽面積(㎡)(ア)	(イ)	緑化面積(㎡)(ア×イ)	備考
			0.9		
			0.9		
			0.9		
	計			④	

敷地計(㎡)	A 1	①+②+③+④
--------	-----	---------

■建築物上

【樹木】（植栽本数欄は植栽時（既存樹木は計画書作成時）の樹高で分類）

番号	植栽区画面積		植栽本数 (本)				18B + 10C + 4D + E の値 (m ²)	緑化面積 (m ²)	備考
	計算式	実面積 (m ²)	B	C	D	E			
	計						⑤		

【その他】

番号	計算式	緑化面積 (m ²)	備考
	計	⑥	

建築物上計 (m ²) A 2	⑤+⑥
-----------------------------	-----

注

- 1 実面積は図面と整合させ、小数点以下第2位（第3位切捨て）までを記入すること。
- 2 CADによる面積算出の場合には、計算式欄に「CAD算出」と記入し、面積算出を図面に示している場合は計算式欄に「別添図面のとおり」と示すこと。
- 3 花壇等の場合には、その緑化面積の合計が①の緑化面積の4分の1以内となっていることを確認すること。

2 接道部における緑化の長さ

番号	計算式	接道部における 緑化の長さ (m)	備考
計		L 1	

3 樹木の植栽による緑化を行う敷地における緑化面積のうち、成木時の高さが2.5m以上となる樹木の本数

番号	緑化面積 (㎡)	成木時の高さが2.5m以上となる樹木の本数(本)	成木時の高さが2.5m以上となる樹木の植物名	備考
計		T		

- ※1 緑化面積は、「1 緑化面積」中の「■敷地【樹木】」と一致させること。
 2 敷地における樹木の植栽による緑化を行つた箇所が高木がない場合も、緑化面積部分は記入すること。

緑化計画変更届出書

年 月 日

(宛先)

埼玉県知事

住所

氏名

㊦

〔法人にあつては、主たる事務所の所
在地及び名称並びに代表者の氏名〕

電話番号

代理人

住所

氏名

㊦

〔法人にあつては、主たる事務所の所
在地及び名称並びに代表者の氏名〕

電話番号

担当者名

年 月 日付けで届け出た緑化計画について次のとおり変更したいので、ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例第26条第2項の規定により届け出ます。

変更内容（該当する□に✓印を記入すること。）

□届出者

変更前	変更後
住 所： 氏 名： (法人にあつては、主たる事務所の所在地及び名称)	住 所： 氏 名： (法人にあつては、主たる事務所の所在地及び名称)

□敷地面積等

敷地面積（全体）		
S	(変更前) m ²	(変更後) m ²
法令により緑化を行うことができない区域の面積		
S'	(変更前) m ²	(変更後) m ²

□接道部等の長さ

接道部の長さ		
L	(変更前) m	(変更後) m
法令により緑化を行うことができない部分の長さ		
L' 1	(変更前) m	(変更後) m
出入口の部分に係る長さ		
L' 2	(変更前) m	(変更後) m

□樹木の植栽面積

樹木の植栽により緑化を行う敷地の区域の面積 敷地地上部において樹木による 緑化を行う面積 (別紙2の緑化面積等計算表の①)		
T'	(変更前) m ²	(変更後) m ²

(緑化面積の基準算定式)

- 用途地域内
 $a = (S - S') \times (1 - \text{建蔽率}) \times 0.5$
- その他の区域
 $a = (S - S') \times 0.25$

(接道部緑化の基準算定式)

$$l = ((L - L' 1) \times 0.5) \text{ 又は } (L - (L' 1 + L' 2))$$

いずれか小さい値

(高木植栽本数の基準算定式)

$$t = T' / 20 \text{ m}^2$$

□緑化基準

基準	緑化を要する面積		緑化を要する接道部の長さ		高木となる樹木の植栽本数			
	a	(変更前) m ²	(変更後) m ²	l	(変更前) m	(変更後) m	t	(変更前) 本

□緑化計画

計画	緑化面積 (A 1 + A 2)		接道部の緑化を行う部分の長さ		高木となる樹木の植栽本数			
	A	(変更前) m ²	(変更後) m ²	L 1	(変更前) m	(変更後) m	T	(変更前) 本

注 緑化計画変更後の図面を添付すること。

緑化計画内容一覧表

	高さ(植栽時)	植栽本数		植物名	
樹木 ※ 植栽時の樹高で分類	4.0 m以上	B	既存	本	
			新規	本	
	4.0 m未満 2.5 m以上	C	既存	本	
			新規	本	
	2.5 m未満 1.0 m以上	D	既存	本	
			新規	本	
	1.0 m未満	E	既存	本	
新規			本		
樹木本数計		(B + C + D + E) の合計本数		本	
緑化面積		うち成木時の高さ 2.5 m以上の樹木本数 (別紙 2 の緑化面積等計算表 (T))		本	
		(別紙 2 の緑化面積等計算表の①と一致)		m ²	
敷地	植栽本数		緑化面積		植物名
	生け垣 ・ 4 m 以上の 樹木	生け垣	既存	本	
			新規	本	m ²
	4 m以上 の樹木		既存	本	m ²
			新規	本	m ²
	緑化面積		(別紙 2 の緑化面積等計算表の②+③と一致)		m ²
	緑化面積		植物名		
	その他	既存	m ²		
		新規	m ²		
		既存	m ²		
新規		m ²			
既存		m ²			
新規		m ²			
緑化面積		(別紙 2 の緑化面積等計算表の④と一致)		m ²	
合計	別紙 2 の緑化面積等計算表の A 1			m ²	
建築物上	高さ(植栽時)		植栽本数		植物名
	4.0 m以上	B	既存	本	
			新規	本	
	4.0 m未満 2.5 m以上	C	既存	本	
			新規	本	
	2.5 m未満 1.0 m以上	D	既存	本	
			新規	本	
	1.0 m未満	E	既存	本	
			新規	本	
	樹木本数計		(B + C + D + E) の合計本数		本
	緑化面積		(別紙 2 の緑化面積等計算表の⑤と一致)		m ²
	緑化面積		植物名		
	その他	既存	m ²		
新規		m ²			
既存		m ²			
新規		m ²			
緑化面積		(別紙 2 の緑化面積等計算表の⑥と一致)		m ²	
合計	別紙 2 の緑化面積等計算表の A 2			m ²	
■緑化面積の合計 (A 1 + A 2)				A	m ²

※ 面積については、小数点以下第 2 位 (第 3 位切捨て) までを記入すること。

緑化面積等計算表

1 緑化面積

■敷地

【樹木】(植栽本数欄は植栽時(既存樹木は計画書作成時)の樹高で分類)

番号	植栽区画面積		植栽本数 (本)				18B + 10C + 4D + E の値 (㎡)	緑化面積 (㎡)	備考
	計算式	実面積 (㎡)	B	C	D	E			
	計							①	

- ※1 Bは4m以上、Cは2.5m以上4m未満、Dは1m以上2.5m未満、Eは1m未満
- 2 緑化面積は、「植栽区画面積 ≤ 18B + 10C + 4D + E」の式を満たすものであること(⑤において同じ。)

【生け垣・4m以上の樹木】

生け垣

番号	植物名	生け垣の長さ(m)(ア)	生け垣の高さ(m)(イ)	緑化面積(㎡)(ア×イ)	備考
	計			②	

- ※ 生け垣の長さ及び高さは、小数点以下第1位(第2位切捨て)までを記入すること。

4m以上の樹木(樹高欄は植栽時(既存樹木は計画書作成時)の樹高で算定)

番号	植物名	樹高(m)(ア)	本数(イ)	緑化面積(㎡)	備考
	計			③	

- ※1 生け垣で加算した面積に係る樹木は除く。
- 2 樹高は、小数点以下第1位を切捨てで記入すること。
- 3 緑化面積の算定方法は、次のとおりとする。

$$\text{緑化面積} = (\text{ア} \times 0.6 \times 0.5) \times (\text{ア} \times 0.6 \times 0.5) \times 3.14 \times \text{イ}$$

【その他】

番号	計算式	植栽面積(㎡)(ア)	(イ)	緑化面積(㎡)(ア×イ)	備考
			0.9		
			0.9		
			0.9		
	計			④	

敷地計(㎡)	A1	①+②+③+④
--------	----	---------

■建築物上

【樹木】(植栽本数欄は植栽時(既存樹木は計画書作成時)の樹高で分類)

番号	植栽区画面積		植栽本数				18B + 10C + 4D + E の値 (m ²)	緑化面積 (m ²)	備考
	計算式	実面積 (m ²)	B	C	D	E			
	計							⑤	

【その他】

番号	計算式	緑化面積 (m ²)	備考
	計		⑥

建築物上計 (m ²) A 2	⑤+⑥
-----------------------------	-----

注

- 1 実面積は図面と整合させ、小数点以下第2位(第3位切捨て)までを記入すること。
- 2 CADによる面積算出の場合には、計算式欄に「CAD算出」と記入し、面積算出を図面に示している場合は計算式欄に「別添図面のとおり」などと示すこと。
- 3 花壇等の場合には、その緑化面積の合計が①の緑化面積の4分の1以内となっていることを確認すること。

2 接道部における緑化の長さ

番号	計算式	接道部における 緑化の長さ (m)	備考
計		L 1	

3 樹木の植栽による緑化を行う敷地における緑化面積のうち、成木時の高さが2.5m以上となる樹木の本数

番号	緑化面積 (㎡)	成木時の高さが2.5m以上となる樹木の本数(本)	成木時の高さが2.5m以上となる樹木の植物名	備考
計		T		

- ※1 緑化面積は、「1 緑化面積」中の「■敷地【樹木】」と一致させること。
 2 敷地における樹木の植栽による緑化を行つた箇所で高木がない場合も、緑化面積部分は記入すること。

緑化完了報告書

年 月 日

(宛先)

埼玉県知事

住所

氏名

㊟

〔法人にあつては、主たる事務所の所
在地及び名称並びに代表者の氏名〕

電話番号

代理人

住所

氏名

㊟

〔法人にあつては、主たる事務所の所
在地及び名称並びに代表者の氏名〕

電話番号

担当者名

年 月 日付け（年 月 日付け変更）で届け出た緑化計画に係る緑化が完了したので、ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例第29条第1項の規定により、次のとおり報告します。

工 事 種 別	
建 築 物 の 用 途	
敷 地 の 所 在 地	

緑化着工日	緑化完了日
年 月 日	年 月 日

用途地域等	建蔽率
1 用途地域等（ ） 2 その他の区域	1 あり（ %） 2 なし

敷地面積（全体）	
S m ²	
法令により緑化を行うことができない区域の面積	
S' m ²	

接道部の長さ	
L m	
法令により緑化を行うことができない部分の長さ	
L' 1 m	

樹木の植栽により緑化を行う敷地の区域の面積	
敷地地上部において樹木による緑化を行う面積	
(別紙2の緑化面積等計算表の㉑)	
T' m ²	

出入口の部分に係る長さ	
L' 2 m	

(緑化面積の基準算定式)

- 1 用途地域内
a = (S - S') × (1 - 建蔽率) × 0.5
2 その他の区域
a = (S - S') × 0.25

(接道部緑化の基準算定式)

$$\ell = ((L - L' 1) \times 0.5) \text{ 又は } (L - (L' 1 + L' 2))$$

いずれか小さい値

(高木植栽本数の基準算定式)

$$t = T' / 20 \text{ m}^2$$

基 準	緑化を要する面積	緑化を要する接道部の長さ	高木となる樹木の植栽本数
	a m ²	ℓ m	t 本

㉑ A ≥ a、L 1 ≥ ℓ、T ≥ t となるようにすること。

完 了	緑化面積 (A 1 + A 2)	接道部の緑化を行う部分の長さ	高木となる樹木の植栽本数
	A m ²	L 1 m	T 本

(別紙1の緑化完了内容一覧表の敷地の緑化面積「A 1」+建築物上の緑化面積「A 2」)

注 緑化計画届出書（緑化計画変更届出書）の内容と実績が異なる場合には、位置図（行為地又は建築物等の位置図及び方位を示すもの）、緑化完了平面図（建築物上の緑化に係るものも含む。）、緑化完了断面図（壁面の緑化や駐車場の緑化を行った場合に限る。）及び建築物立面図（建築物上の緑化を行った場合に限る。）を添付すること。

緑化完了内容一覧表

	高さ(植栽時)	植栽本数		植物名	
		既存	新規		
敷地	樹木 ※ 植栽時の樹高で分類	4.0 m以上	B	既存 本	
				新規 本	
	4.0 m未満 2.5 m以上	C	既存 本		
			新規 本		
	2.5 m未満 1.0 m以上	D	既存 本		
			新規 本		
	1.0 m未満	E	既存 本		
新規 本					
樹木本数計		(B + C + D + E) の合計本数		本	
緑化面積		うち成木時の高さ 2.5 m以上の樹木本数 (別紙 2 の緑化面積等計算表 (T))		本	
		(別紙 2 の緑化面積等計算表の①と一致)		m ²	
敷地	植栽本数		緑化面積	植物名	
	生け垣 ・ 4 m 以上の 樹木	生け垣	既存 本	m ²	
			新規 本	m ²	
	4 m以上 の樹木		既存 本	m ²	
			新規 本	m ²	
	緑化面積		(別紙 2 の緑化面積等計算表の②+③と一致)		m ²
	その他	緑化面積		植物名	
		既存	m ²		
		新規	m ²		
		既存	m ²		
新規		m ²			
既存		m ²			
新規		m ²			
緑化面積		(別紙 2 の緑化面積等計算表の④と一致)		m ²	
合計	別紙 2 の緑化面積等計算表の A 1			m ²	
建築物上	樹木 ※ 植栽時の樹高で分類	高さ(植栽時)	植栽本数		植物名
			4.0 m以上	B	
	新規 本				
	4.0 m未満 2.5 m以上	C	既存 本		
			新規 本		
	2.5 m未満 1.0 m以上	D	既存 本		
			新規 本		
	1.0 m未満	E	既存 本		
			新規 本		
	樹木本数計		(B + C + D + E) の合計本数		本
	緑化面積		(別紙 2 の緑化面積等計算表の⑤と一致)		m ²
	その他	緑化面積		植物名	
		既存	m ²		
		新規	m ²		
既存		m ²			
新規		m ²			
緑化面積		(別紙 2 の緑化面積等計算表の⑥と一致)		m ²	
合計	別紙 2 の緑化面積等計算表の A 2			m ²	
■緑化面積の合計 (A 1 + A 2)				A m ²	

※ 面積については、小数点以下第 2 位 (第 3 位切捨て) までを記入すること。

緑化面積等計算表

1 緑化面積

■敷地

【樹木】(植栽本数欄は植栽時(既存樹木は計画書作成時)の樹高で分類)

番号	植栽区画面積		植栽本数 (本)				18B + 10C + 4D + E の値 (m ²)	緑化面積 (m ²)	備考
	計算式	実面積 (m ²)	B	C	D	E			
	計							①	

- ※1 Bは4m以上、Cは2.5m以上4m未満、Dは1m以上2.5m未満、Eは1m未満
 2 緑化面積は、「植栽区画面積 ≤ 18B + 10C + 4D + E」の式を満たすものであること(⑤において同じ。)

【生け垣・4m以上の樹木】

生け垣

番号	植物名	生け垣の長さ(m) (ア)	生け垣の高さ (m) (イ)	緑化面積 (m ²) (ア×イ)	備考
	計			②	

- ※ 生け垣の長さ及び高さは、小数点以下第1位(第2位切捨て)までを記入すること。

4m以上の樹木(樹高欄は植栽時(既存樹木は計画書作成時)の樹高で算定)

番号	植物名	樹高(m) (ア)	本数 (イ)	緑化面積 (m ²)	備考
	計			③	

- ※1 生け垣で加算した面積に係る樹木は除く。
 2 樹高は、小数点以下第1位を切捨てで記入すること。
 3 緑化面積の算定方法は、次のとおりとする。
 緑化面積 = (ア × 0.6 × 0.5) × (ア × 0.6 × 0.5) × 3.14 × イ

【その他】

番号	計算式	植栽面積(m ²) (ア)	(イ)	緑化面積 (m ²) (ア×イ)	備考
			0.9		
			0.9		
			0.9		
	計			④	

敷地計 (m ²)	A 1	①+②+③+④
-----------------------	-----	---------

■建築物上

【樹木】（植栽本数欄は植栽時（既存樹木は計画書作成時）の樹高で分類）

番号	植栽区画面積		植栽本数 (本)				18B + 10C + 4D + E の値 (m ²)	緑化面積 (m ²)	備考
	計算式	実面積 (m ²)	B	C	D	E			
	計							⑤	

【その他】

番号	計算式	緑化面積 (m ²)	備考
	計	⑥	

建築物上計 (m ²) A 2	⑤+⑥
-----------------------------	-----

注

- 1 実面積は図面と整合させ、小数点以下第2位（第3位切捨て）までを記入すること。
- 2 CADによる面積算出の場合には、計算式欄に「CAD算出」と記入し、面積算出を図面に示している場合は計算式欄に「別添図面のとおりに」と示すこと。
- 3 花壇等の場合には、その緑化面積の合計が①の緑化面積の4分の1以内となっていることを確認すること。

2 接道部における緑化の長さ

番号	計算式	接道部における 緑化の長さ (m)	備考
	計	L 1	

3 樹木の植栽による緑化を行う敷地における緑化面積のうち、成木時の高さが2.5 m以上となる樹木の本数

番号	緑化面積 (㎡)	成木時の高さが2.5 m以上となる樹木の本数 (本)	成木時の高さが2.5 m以上となる樹木の植物名	備考
計		T		

- ※1 緑化面積は、「1 緑化面積」中の「■敷地【樹木】」と一致させること。
 2 敷地における樹木の植栽による緑化を行つた箇所が高木がない場合も、緑化面積部分は記入すること。

附 則

この規則は、平成三十一年四月一日から施行する。